

# WATER REVIEW 2023 FROM KAOHSIUNG

9th IWA-ASPIRE (第9回国際水協会アジア・太平洋地域会議) 速報 Vol.1 2023年10月24日(火) 日本水道新聞社無料配信

## 生命・水・未来のまちづくり



23日午前に開かれた9th IWA-ASPIRE 開会式の写真セッション

### スマートシティの実現へ 第9回 IWA-ASPIRE 会議・展示会 台湾・高雄市で開幕

IWA (国際水協会) の第9回ASPIRE (アジア太平洋地域) 会議・展示会が台湾・高雄市で開幕した。これまで隔年で開かれてきた同会議だが、近年はコロナ禍による延期を余儀なくされており、2019年(香港)以来4年ぶりの開催となった。

30を超える国・地域から1000人を超える水の専門家が参加する中、10月26日までの会期中に9編の基調講演や600編超の口頭・ポスター発表、約50者によるブース展示、技術視察、併催イベント等が行われ、主要テーマである「One Water for Smart Cities」(スマートシティのための水)のもと、人々の暮らしや経済活動と水資源の持続可能性などに関連した産官学の多彩な知見が共有される。

10月23日午前に開かれた開会式では、共同議長を務める台湾水道協会(CTWWA)のジャリン・リー理事長と国立成功大学のツイファー・リン教授(環境工学系)が並んであいさつ。参加

者や会議の実現に尽力した関係者に対して謝意を示したほか、「私たちは水によってスマートシティを実現するという課題を検証するために参集した。この会議では、生命の水と未来のまちづくりとの関係性について議論する。スマートシティの実現は世界の多くの都市にとって差し迫った課題であり、私たちが求めようとする解決策は現代の都市に影響を与えるだけでなく、次世代の都市の青写真を形作るでしよう。生産的な会議になることを楽しみにしている」と述べ、国境を超えた活発な交流に期待した。

続いて、IWAのトム・モレンコフ会長、高雄市のチーマイ・チェン市長、台湾内政部のタンアン・ウー次長、台湾環境部のジウンホン・イェー次長、台湾経済部のメイファ・ワン部長が登壇した。このうちモレンコフ会長は、「水は社会経済や人々の幸福にとって重要なもの。この会場に台湾政府や高雄市の要職、著名な水の専門家らが多数参加しているという事実がまさにそれを示してい

る」と述べた上で、よりスマートで回復力のある都市の実現を見据え、最新の知見に基づく議論が展開されることを望んだ。また、IWA第2代会長を務めた丹保憲仁北海道大学名誉教授が8月6日に死去したことに触れ、「丹保教授は水分野のリーダーとしてIWAの方向性を形作る重要な役割を果たした。多大な貢献に感謝したい」と哀悼の意を表した。

チェン市長は、高雄市における干ばつへの対応や地下水涵養の取り組みを紹介したほか、「会議後にはぜひ市内を巡ってほしい」と呼びかけた。

ワン部長は、台湾のGDPの35%超は製造業によるものだとし、より高度な半導体産業などを支える観点から水の供給体制を確保することの重要性を強調した。

このほか開会式では、国立台北大学のパフォーマーが伝統的な台湾音楽と現代の電子的なビートを組み合わせた「Electric Techno Neon Gods」や台湾先住民のアポリジニダンスを披露した。

### ジャパン・パビリオン 日本の上下水道関係企業・団体14者が共同出展

23日午前の開会式終了直後には、日本の上下水道関係企業・団体の協働による「ジャパン・パビリオン」もオープニングを迎えた。会議に参加する日本の関係者が一堂に会した記念撮影には、IWAのモレンコフ会長やCTWWAのリー理事長らも加わり、開幕を祝した。一部の企業・団体はランチタイムなどを活用してプレゼンやビデオ放映を行っている。

#### ジャパンパビリオン出展企業

キッツ	東京水道	日本水道協会
栗本鐵工所	東京都下水道局	日本水道工業団体連合会
水研	東京都水道局	日本鑄鉄管
コスモ工機	日本ヴィクトリック	日本ニューロン
大成機工	日本下水道新技術機構	(五十音順)



ジャパンパビリオン関係者とIWAモレンコフ会長、リー議長(下列中央)